



充実生活

住まいづくりは何かのきっかけで始まることが多いようです。お子様の小学校ご入学、二人目のお子様のご誕生、ご主人様が来春で定年退職、など。

「住まい」はあなた様やご家族の生活スタイルの変化によって使い勝手やそこに求めるものが変わってきます。

ただ一つはずせないことは、住まいが「こころよい空間」であること。

何もしてないのに楽しい、家事をすれば自分の体の一部のように使いやすい、心に余裕が生まれる住まい。そんな住まいをつくりたい、そんな住まいに住んでいただきたい。

家族みんなが一日の半分以上を過ごす我が家。我が家は家族みんなの体の一部です。

充実生活がずっとずっと続いていく、そんな家づくりを私たちは追い求めます。

平成二十六年十二月
石田工務店
代表取締役 石田泰久

上賀茂野郎の家 2014年2月完成



宇治の家 2014年2月完成



マザーハウスの心地よい暮らしを守る こだわり『自然素材』

<p>無垢の床は人を笑顔にする魅力があります。特に素直な子どもたちはその心地よさに敏感で、さらさらの無垢床を裸足で駆け回りたり自然と寝転んだり、戯れることに増える痕跡は子どもの成長と共にいつしか味となり、思い出として刻まれています。マザーハウス石田工務店が無垢材や塗り壁といった自然素材にこだわるのは「家族の時間を大切にしたい」という素直な思いからです。</p>	<p>天然木の温もりが住まう人の暮らしをつつみこむ</p>	<p>多くの笑顔に出会う住まいづくり マザーハウス・充実生活が続く家</p>
---	-------------------------------	--

Mother House



Mother House



COLUMN

石田工務店の家・人・モノ「暮らしのプランナー」 ひらねえさんのお片づけコラム

みなさんこんにちは。
私は石田工務店でなが〜い間(21年)プランナーをしております日浦弘子と申します。
整理収納お片づけのプロでもあります。このコラムではお片づけについてお話ししていきますね。
お片づけに最も重要なのがモノを収納することです。皆様にとって「収納」って一体何でしょう？
「たくさんモノが入っている所」「とりあえずモノを入れる所」「いっぱいあったら便利な所」
「何が入っているのかわからない所」もっと色々ありますよね。

しかし・私が「収納」と言っている意味はひとつ。
「使っているモノが使いやすいように入っている場所」のことなんです。
さあ、皆様の収納には使っているモノだけが入っていますか？
何年も入れっぱなしのモノや得ての知れないモノは入っていませんか？
人はよく「もったいない」という言葉を使います。モノが大事だから「もったいない」と言いながらだとしておくという意味ではありません。
モノは使ってあげて使いきってあげることが一番モノを大事にしていることなんです。実は大事に大事に使いもせず、また存在さえも忘れてしまっ
まい込んでいたことが本当は一番もったいないことをしているんですよ。

【日浦弘子 Profile】

石田工務店 主任(建築プランナー・インテリアコーディネーター・整理収納アドバイザー)
工務店勤務21年。住宅デザインプロデュースに定評がありこれまでに500以上の物件をプロデュースしている。
NPO法人ハウスキーパー協会認定講師。整理収納に関してこれまでに講演実績多数。

使わずに家の中の隅々までしまっておかれたモノは「死蔵品」と言います。
さて、皆様の押入れやクローゼット、物置でモノを死なせてはいませんか？
まずはいったん入っているモノを全部取り出して死んでいるモノを復活させてあげてということを考えてみてください。
なぜそのモノを持っているのか？その所有の意味を考えていただきたいのです。モノを整理(いるいらないを分けて)してスッキリした気持ちでお暮らしください。

そして…皆様は今現在「楽」をして暮らしておられますか？
楽ちんの「楽」、楽しい「楽」、身体的に負担がかからないかどうか、
ところが楽しいと感じられるかどうか…この二つが「楽」です。
「楽」を得られるようにするために「家」では大切にしなければならないことがあります。このコラムのテーマ「収納」の工夫はもちろんのこと、断熱性、気密性、耐久性など石田工務店では大切にしていることが工法的にもたくさんあります。
ぜひホームページなどで確認してくださいね。